

ああ、結婚！

一婚活日記一

第8回

黒田長宏

<9月9日>

悲惨なので過去を読み返したくないため、前回既に書いていたかも知れないのだが、書いてないかも知れない。私の記憶力はひどい。何を言出すかという、既に3度行ったのだが、月に2度を計画しているが、場所が2時間半片道車でかかって大変なのではあるが、いまだ独身で苦心している状況の中で、独身なのに、婚活で事業をしたいという気持ちが出てきて、創業相談に経営コンサルタントのH先生のところに通い込んでいる。現状では無理なんじゃないかと思えるような段階だが、一人では無理だが、経営コンサルタントの先生と面談していくので、その分の可能性が出ると思う。この連載をさせてもらえるようになった当初は思いもしなかったのだが、今の職場もけっこう体力仕事の面もあり、定年までやってしまえたとしても次の転職に際して専門的な技術も無く、

もし死ななかつたら就職に苦労する時期がやってくるだろうから、それなら起業準備でもして、人生一度なら挑戦して悪いことでもないのかも知れないなどという思いもあり、それなら体験上、苦労しっぱなしでいまだに成功していない結婚分野で金を動かせるのも一緒にやるのが理想だと思ってきた。半分、10年近くにはなったが、今の職場への逃げの意識もあるのかなというのものもあるもの、こうして文章を書かせてもらえることや、ネットに書き続けていることも、社会に対する主張の一環ではあるのだが、社会に動きが出せない。やはり、仕事として、金も動く方法で成功しないと、この自由主義の国では本当ではないのかも知れないという思いもある。そういう面では、茨城県という組織の選ばれた経営コンサルタントの先生に、私の思いを伝えるだけでも一歩となっているのだと思う。いままで、自分の状況報告日記までかも知れないのだが、まだすぐにはいれないが、事業をスタート出来たら、『対人

<2018年8月13日>

34号用原稿を編集長に送った。34号は何かと企画はしたものの、成果が出ず、今号はうれしい変化が出て欲しいと思っている。

<9月9日>

昨夜、久しぶりにネット婚活の一つから返信が来たが、子供がいるとだけ書かれていた女性で、私が子供さんは男の子か女の子かと、もっと子供が欲しいかの返信で、私は女の子一人で、私との子も考えられる場合なら交際したいと出したのだが、ほとんどの女性は返信はなく、メール開通してでさえ来ないという、なんだかわからない人が多いのに、その女性は丁寧で、返信が来た。残念ながら、男の子が二人だという。お互いにメールの交換をしたが、その女性は二人の男の子の写真を追加していた。それなら聞く前にわかる。賢い人だったと思うが、残念ながら、こちらから削除した。どんな内容であれ、メールを返してくれる女性がストップした期間が長引いていたので、有難かった。

援助』という実体験にもなり、教科書1冊読めていない状態で、嫁もないのだが、このマガジンをとびとびに読ませてもらっているくらいの学習ではあるが、実体験となれば、対人援助学という学問にも、今よりも接近できるかも知れない。

<9月19日>

昨日今日と連休で、昨日は経営コンサルタントの先生に4度目の訪問。起業の実現に向けなければいけないと思うので、始まる前から、雲を掴むような段階からここで宣言してみる。ネット婚活はまるで停滞。職場で特定の人への対人恐怖が出ていて、なにかしら私の人生でなんにも苦がない時はない。って、誰でもそうなのだろうか。

<9月25日>

もう5年近くも前なのか6年か、職場のある看護師さんに少しアピールしようとしてかなり中途半端に失敗し、冷たくされるようになってしまったのだが、部署の年齢はだいぶ若い人だが、上司に、

以前も別の人の名前を教えてもらったが、今度は私のほうから、例の看護師さんはどうなんだろうと聞いてみた。わかったと言っていたが、何がわかったかはわからないが、ネット婚活も停滞状態の中でするしかなかったのである。

<10月1日>

猛暑や災害や大変な年だが、今日も台風後に暑いが久しぶりにネット婚活に応募した。1つまた減らして4つである。対人恐怖症気味で左肩と左歯茎の上側が痛く、不調だし、ちょっと休みがこまめでない10月だが、好転させたい。起業相談に行くのは9日だ。

<10月10日>

連休前半の昨日は、5回目の創業相談に行ってきた、コンサルタントの先生に話して、クラウドファンディングはしてみようということに。先生がファンドの担当者に連絡しておいてくれるとの事。今朝は、3年くらいか、どうしているかと思いながら連絡をせずにはいた、13年前くらいに営業で一緒だったHさんに早朝電話した。勤務しているとのことで安心した。年上の人だが、私が51歳で13年前だったんだから、お互いに元気だったわけだ。前回連絡した時はかなり落ちていた感じがしていたので安心した。私自身ここ数か月、職場の人間関係でちょっとずれているわけだが、すぐには展開しないが休日に起業を少しずつ進める計画もしながら、ねばらないと。この連載をさせてもらった最初には考えもしなかったが、窮鼠猫を噛むのことわざで合っているかどうかかわからないが、事業テーマは、結婚が難しい人を助けるなのだから、対人援助学会の基本にははまっていると思う。

<10月23日>

企業秘密になるのでわかりづらく書くが、某対人援助事業実現のため、経営コンサルタントの先生の紹介のクラウドファンディング担当者と会い、理念を伝え、方針も若干変更した。自らの婚活には変化なし。

<11月11日>

事情は今を書かないが、憂鬱などでカウンセリングや投薬を受け始めてたり、元妻との離婚裁判以来の精神的不調がややあるが、久しぶりにネット婚活をみたが、お金も払っているのでこれもやらねばいけない。というか、結婚しなければ。けっこう追加応募したが、やはり反応はないのかも知れない。どうして最初の頃に幾人か反応が来たのか。決してサクラではないとは思っているのだが。サクラだったらもっと違うはずである。今日は休みだったが、あと3日勤務すれば、連

休でその最初の日、結婚難対策を私なりに新規のアイデアも含んで行うための、ホームページ制作の専門家と会う予定である。創業コンサルタントの先生とは既に5回ほどお会いしているだろうか、随分世話になってしまっていると思うし、必ず実行する気持ちである。思えば今まで別の内容の起業を思いついても実現に行かなかった。今回は違っていかねばいけない。

<11月13日>

締め切り間近にネタを作っているわけではないが、職場の、年はだいぶ若い上司に、某看護師さんについて調べてもらっていたら、某看護師さんは付き合いがないという。少なくとも4年以上は付き合いがないような感じである。なんとなくかならないのか。上司が考えておくとおっしゃっていたので、考えてくれるかも知れないが、どうしてこんなに結婚に至るまで大変なのだろうか。性格的に告白しまくるような人にはなれない。一日も早く起業専門になりたいと思ってしまったのに、上司や職場に悪いような気もするが、結婚相手が見つからないと私の場合は困る。明後日は、いよいよ、そうした結婚難の対人援助事業のために、PRの専門家に会う予定だが(以前、企業秘密と書いたような気がするがこうして書いてしまうと秘密でもなんでもない)、その人と合うようなら、ラッキーなのだが。しかし、創業コンサルタントの担当の先生は感じの良い人だと感じているので、ラッキーなはずである。それもあって、まだ今回は提出しないでこよう。

<11月15日>

片道2時間かけて走行160キロ。1時半から5時まで、創業コンサルタントの先生の紹介で、PRの専門の先生とも相談を受けてきた。来年には結婚が難しい人のための事業を私のアイデアを使って試してみたいと思う。そして多分、締め切りまでのあと10日には目新しいことも起きない

のではないかと思うので、こちらで今回は提出しようかと思う。今回は以前の結婚詐欺師とのロマンスとはかなり違った内容だったと思う。本当に同じ作者なのだろうか。私は。だとすれば次回だって何がどうなるかわかったものではない。